

地域を維持するがん検診 広報げろ 2014.1

地域を維持するがん検診

日本人の二人に一人はがんになるといわれている今日、がん対策は個人の問題だけでなく、地域の維持にとって大変重要な課題です。今年もがん検診を受けましょう。

◎がん検診の目的

がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことによってがんによる死亡を減らす事です。検診で異常が見つかったも精密検査を受け、治療に結びつけなければ検診の効果があつたとはいえません。がんを早期に発見し適切な治療によって短期間で社会復帰することは地域の維持のためにも大切なことです。

◎がん検診の種類

肺がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん等の検診があります。金山病院では子宮頸がん検診をのぞいたがん検診とそれに引き続いた精密検査を行っています。

◎がん検診の効果

現在行われている胃がん、大腸がん、子宮頸がん、肺がん、乳がんの検診は、科学的方法でがんによる死亡率の減少が確認されています。

◎がん検診を受けることが出来る人

がん検診は無症状の人が、がんを早期に発見し有効な治療を行うために受けるものです。がん検診を多くの方に受けていただくために公的な補助があります。対象年齢に達したら積極的にがん検診を受けましょう。医療保険を使ってがん検診を受けることは禁止されています。少しでも症状のある人は検診を待つことなく保険証を持って医療機関を受診しましょう。乳がんを例にとりますと、クーポン券の使用は無症状の方に限らせていただいています。

◎効果があるとされている検診方法

胃がんは胃 X 線検査、大腸がんは便潜血反応、全大腸内視鏡検査、肺がんは胸部 X 線検査と喀痰細胞診検査の併用、子宮頸がんは細胞診、乳がんはマンモグラフィーが効果ありとされています。これらの方法でも全てのがんが早期発見できるとは限りません。ドックなどではさらに各種診断法を組み合わせたがん検診を受けられます。金山病院でもドックを行っています。

◎高齢者とがん検診

高齢者の大腸がんが増えています。症状が出てからの治療は手術を行う上でも、術後の抗がん剤治療などを行う上でも高齢者なるが故に難渋することもあります。早期発見こそがその後の生活を有意義なものにします。

◎社会に、家庭に影響する乳がん

乳がんは社会的にも家庭でも重要な時期にある女性に多く、早期発見、早期治療こそが、家庭や地域の維持のために重要です。

◎金山病院のがん治療

金山病院では、岐阜大学病院腫瘍外科から派遣された専門医が地域を支えるために、病病連携を密にして、がんの診断から手術、術後経過観察、抗がん剤治療まで積極的に行っています。皆さんの受診をお待ちしています。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦